



# 南越小だより

発行 越谷市立南越谷小学校

〒343-0845 越谷市南越谷4-21-1 TEL 048-988-5582

ホームページURL <http://school.city.koshigaya.saitama.jp/minamikoshigaya-e/>



## 在籍児童数(1/10現在)

|      |      |    |      |
|------|------|----|------|
| 1年   | 141名 | 4年 | 157名 |
| 2年   | 159名 | 5年 | 137名 |
| 3年   | 139名 | 6年 | 156名 |
| なかよし | 6名   |    |      |
| 合計   | 895名 |    |      |
| 家庭数  | 709名 |    |      |

## 言葉の力

校長 西田 知巳

あけましておめでとうございます。コロナ禍の中で迎える新年も3回目となり、未だ終息の気配が見えない中ですが、社会的に With コロナの行動様式が定着してきたのか、大きな行動制限もなく、各地で穏やかな新年の様子が見られるようになりました。保護者、地域の皆様にとりましても、健やかで平穏な新年であるご拝察申し上げます。今年「卯年」。干支で言うと「癸卯（みずのとう）」です。動物の「卯（うさぎ）」は、跳ねまわる印象があり、今年は大きな跳躍の年であることが期待されますが、同時に、うさぎは温厚で穏健な性格であることから、「家内安全」を象徴する年でもあるそうです。どちらにしてもプラス印象の、コロナ禍の暗い世情に少し明るさ、希望をもたらしてくれるありがたい年になるのではないかと思います。

さて、ここで少し時間をさかのぼります。昨年のお話で恐縮ですが、毎年暮れの風物詩「新語・流行語大賞」、これを私は毎年気に留めています。その年、流行した言葉は何だろう、印象に残った一節は何だろう、と自分なりに想像したりもしています。すでにご承知のことと思いますが、昨年の大賞は、プロ野球ヤクルトスワローズで大活躍した、村上宗隆選手のことを表した「村神様」でした。これはこれで予想の範囲内ではありましたが、私にはそれ以上に強く印象に残った言葉がありました。それは……、

夏の高校野球選手権大会で優勝した、仙台育英高校の須江航監督が、優勝後のインタビューで語った、「青春って、すごく『密』なので」という言葉です。

東北勢初の優勝という歴史的快挙に、自分のチーム、自分の県や地域に向け、その喜びや感謝を伝えたいと普通思うのですが、須江監督は、この言葉に続けて、コロナ禍の中、さまざまな制約や限られた条件下で、日々奮闘する全国の高校生に、ねぎらいと称賛の言葉を贈ったのです。優勝というこれ以上ない結果にたどり着いた喜びを語ることより、苦難の中で、たとえ日が当たらなくても、日々黙々とよりよく生きるための努力を重ねている日本全国の高校生たちへのエールを贈る。そのありのままの姿を、日々見つめ続けてきた指導者だからこそ、言える言葉だったのではないかと思います。

この「青春って、すごく『密』なので」という言葉は、新語・流行語のトップテンにこそ入りませんでした。選考委員会の意向により「選考委員特別賞」が贈られました。選考委員の一人である歌人、俵万智さんは「忌み嫌われてきた『密』を、青春を大肯定する文脈で使った。震えるような言葉の力を感じた。」と感想を述べています。同じ言葉でも、使い方によって印象が悪くなることもあれば、人を勇気づけるポジティブな結果に導くこともある。その力で、人の心を動かし、生きる勇気や希望を生み出す、言葉というものの偉大さを、私は改めて感じた気がしました。この、言葉の持つ偉大な力を、自分を、そして周りの人たちを勇気づけ、感動させ、高めてくために使うことのできる子を育てる。それが私たちの使命であると、身をもって感じた次第です。

さて、昨年「新語・流行語」に拮抗するインパクトを残した言葉が、実はほかにもあると思います。年末のサッカーワールドカップでの、日本代表チームの活躍をめぐる諸々の言葉です。

長友佑都選手が連呼した「ブラボー！」、森保一監督が常に口にしていた「新しい景色」、スペイン戦でのVR判定が話題を呼んだ「三苦の1mm（ミリ）」……、ワールドカップが通常通り6月に開催されていたら、きっと大賞に迫る印象を残したであろう言葉の数々。中でも印象深いのは、「ドーハの歓喜」。1993年、目前でワールドカップ初出場を逃した試合「ドーハの悲劇」と対をなす意味で語られた言葉で、その「悲劇」を目撃し、悲嘆にくれた我々の年代にとっては、深い感慨を呼ぶ言葉。「ドーハの奇跡」ではなく「歓喜」と表現するところが、日本代表チームの成長と躍進の証しだと思いました。

南越谷小学校の児童、ご家庭、教職員、そして地域・関係者の皆様にとって「歓喜」に満ちた1年であることをお祈り申し上げ、新しい年のご挨拶といたします。

## 1月の生活目標

「元気な声であいさつをしよう」

## 55周年キャラクターの開眼式を行いました

55周年キャラクターのデザイン画募集で、最優秀賞を受賞した作品「やっぴー、こっぴー、みなっぴー」をアクリル板に描きました。作成は55周年実行委員会で行い、12月15日（木）に開眼式を行いました。作品は、わくわくルームに展示しています。



## 越谷市検証テストに向けて

先月号でご案内しましたが、越谷市教育委員会による「検証テスト」を全学年で行います。本校は17日（火）～20日（金）を予定しています。1・2年生は「国語、算数」、3年生以上は「国語、算数、理科、社会」を実施します。お子さん一人一人の学びの課題を明らかにすることを目的としており、内容は今の学年で学んできた内容です。学校では、2学期からプリントを作成し取り組んでいるところですが、ご家庭でもお子様の学習の様子を気にかけていただければ幸いです。

## 教材費・給食費について

**教材費** 1月分(1,000円)の集金日は1月12日（木）です。なるべく紙幣での集金にご協力をお願いします。

2月分の集金日は1月31日（火）です。金額は学年毎にお知らせします。どうぞよろしくお願いします。

**給食費** 引き落とし日は1月6日（金）（予備日13日（金））でした。ご協力ありがとうございます。

なお、次回の引き落としは2月6日（月）（予備日13日（月））です。2月分と3月分を合わせた金額(8,000円)になります。引き落としの際、10円の手数料がかかりますのでよろしくお願い致します。

## 欠席・遅刻・早退届と家庭健康観察記録票の紙による提出の廃止について

12月より保護者連絡アプリ「すぐーる」の活用にご協力いただきましてありがとうございます。1月より、紙による「欠席・遅刻・早退届」を廃止いたします。また、お子さまの健康観察の連絡も「すぐーる」（すぐーる画面上、欠席連絡の横にある『健康連絡帳』）にてお願いいたします。そのため、これまで毎日ご提出いただいていた「家庭健康観察記録票」も1月16日（月）をもって廃止いたします。

## 学校への連絡について

- 日頃から学校運営にさまざまご協力いただき、誠にありがとうございます。以下につきまして引き続きご協力をお願いいたします。
- ①ご家族やお子様につきまして、新型コロナウイルスやPCR検査に関する情報がありましたら、その都度、速やかに学校まで電話連絡ください。（学校では、プライバシーを守りつつ、教育委員会及び保健所の指導を仰ぎながら対応いたします。）
  - ②通常の欠席・遅刻・早退及び健康観察の連絡は、8時15分までに「すぐーる」にてお知らせください。「すぐーる」にてご連絡をいただいた内容に変更がある場合は、お電話でお知らせください。3学期より、お子さまの健康観察も上記のように「すぐーる」にてご連絡をお願いします。
  - ③連絡なく欠席や遅刻をしないでください。ご連絡なくお子様が登校していない場合、担任は安否確認のため、クラスを離れて保護者様に連絡をとる必要が発生します。必ずご連絡ください。
  - ④下校方法・下校先の変更（学童利用の変更、早退、お迎え等）は、かならず連絡帳でお知らせください。なお、当日の電話連絡による変更は、お迎え以外は受け付けておりません。お子さまの安全に問題が生じる可能性があるためご理解ください。

## インフルエンザ及び新型コロナウイルス対策について

現在、両疾患の同時流行が懸念されています。給食中の黙食の継続等、学校では基本的な感染症対策はこれまでと同様に行っていきます。各ご家庭におかれましても、引き続きご協力賜りますようお願いいたします。